

— まえがき —

【はじめに】

この本は、『東方天流宮 ～ Heavenly Gathering of Clouds. 』（以下、『天流宮』）の元ネタ（と考えられる事項）をアルム＝バンドが収集・解説したものです。

【『天流宮』とは？】

サークル『スタジオネム』様から第十一回博麗神社例大祭（2014年5月11日開催）で頒布された音楽CDです。“**東方新作シューティングゲームをプレイした気分になれるCD!**”をコンセプトに、東方風の自作曲を本家のSTGと同様のタイトル、ステージ1～6+エキストラステージ、エピローグ、エンディングテーマの合計18曲を収めた音楽合同CDになっています。何より特徴的なのは、曲やストーリーに合わせて1～6、エキストラボスの総勢7人のオリジナルキャラクターが、これも本家風のイラストや設定が用意されているということです。

その設定に着目し、この本ではこの『天流宮』のキャラクター達の元ネタを探ってみよう！ということで元ネタと考えられる事項を集めたものになります。

※『天流宮』について知らないと最初から最後まで何が書いてあるのかさっぱり分からないと思いますので、まずは『天流宮』のサイトをご覧になることをお勧めします。

サイト：<http://tohoful.studionenem.net/>

以上を踏まえ、この本は私・アルム＝バンドが「元ネタはこれかな？」と思った事項に関する資料や情報を収集・解説したものになります。なるべく資料や情報は収集するようにはしましたが、これが元ネタだという正確性を保証するものではありません。

それに伴い、特定の事項のみを元ネタと断定し、それ以外を排斥するような意図は一切ないことを予め断っておきます。創作の参考として肥やしにして頂ければ幸いです。

※『天流宮』頒布直後にアルム＝バンドが twitter 上で元ネタ収集を行い、まとめてあります。> <http://togetter.com/li/668207> (天流宮プレイ感想(偽) - togetter)

この本は、このときの情報を基にリファインし、編集したものになります。

※都合によりエキストラボスは割愛させて頂きました。したがって、この本に書いてあるのはタイトルや自機、1～6 ボスの元ネタになります。予めご了承ください。

以上をご覧になった上で、本文を楽しんで頂ければと思います。

— タイトル・あらすじ —

【タイトル：天流宮の"天"】

「空に広がるのは巨大な海だった」とあらすじにあるように、天空と海が同居していることが窺える。これは『香霖堂』第15話「名前の無い石」で述べられているように、天と海を"アマ"の音で同一視するロジックを用いたものと考えられる[0-1]。「そこ（＝空に広がる水たまり：筆者註）からこぼれ落ちた水は雨となって幻想郷へと流れ続けていた」とあるように、雨もこの同一視の中に含まれるだろう。

（なお、天と雨だけならば『香霖堂』第9話「夏の梅雨堂」でも触れられている[0-2]。）

【タイトル：天流宮の"流" & タイトル曲：天涙流々 ～ Princess's wish】

先のあらすじから、流は雨を表すものではないかと考えられる。タイトル曲の「天涙流々」に雨音のSEが含まれていることもここに繋がるだろう。他にも意図があるように感じられるが、詳しくは徳子の項に譲る。

【タイトル：天流宮の"宮"】

宮は主に神社と、皇族の住居・皇族自身の尊称の2つの意味がある。ここでは後者の方が適切と思われる。なお、"天宮"といえは天帝の宮殿と空の両方を意味する単語となる。

【タイトル：Heavenly Gathering of Clouds】

heavenly…1. すばらしい、美しい 2. 天空の、神聖な。

gathering…集まること、集まり、群衆。

cloud…雲 (clouds の場合は、一塊の雲ではなく、むくむくと重なってふくらんでいる雲などを指す)。

直訳すると、「天空の雲の集まり」。cloud は不安・憂鬱・疑念を表すこともあるため、「天上に集う憂い」という意味も含まれるかもしれない。天涙流々、天は泣いているのだから。

【ブックレットの文様】

ブックレットの中で全ページに渡って描かれているのは「菊水文」である。

これはストーリーが水に関連することと、ラスボスやエキストラボスの伏線になることから選ばれたものと考えられる。また、「地上から数々の剣が失われた」というストーリーから、ボスキャラの名前の下に剣の図が挿入されているものと思われる。

— 自機 —

【二つ名：3人の二つ名】

"八尺瓊"の巫女、"八咫"の魔法使い、"草薙"の庭師。

これらの二つ名はいずれも、天皇が皇位の象徴として代々受け継ぐ"三種の神器"の名前から採られている。

八尺瓊勾玉 (やさかにのまがたま)・八咫鏡 (やたのかがみ)・草薙剣 (くさなぎのつるぎ)。
草薙剣は天叢雲剣 (あまのむらくものつるぎ) の別名である。

東方では『永夜抄』ステージ3 ボス・上白沢慧音のスペルカードである国符「三種の神器 剣」・国符「三種の神器 玉」・国符「三種の神器 鏡」や、『香霖堂』第7話「霧雨の火炉 後編」、『香霖堂』第9話「夏の梅雨堂 後編」で見覚えがある方も多だろう。

なお、三種の神器の由来であるが、神話の時代に、八尺瓊勾玉と八咫鏡は天岩戸 (あまのいわと) に閉じ籠ってしまった天照大神 (あまてらすおおみかみ) を外に出させるために作られた祭器である (後に八咫鏡は天照大神の御神体となる)。